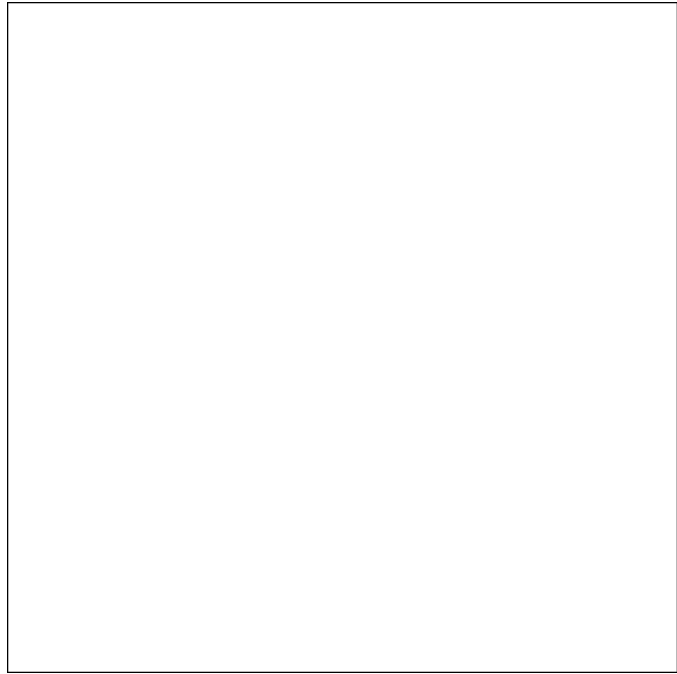




(imageless edition)

Michael Oguttu ✎
Vusi Malindi 🗣️
Yoko Katakura 📄
Japanese 🗣️
Level 2 📖



ቶ-ጊቶ-ጊቶ ፤



Storybooks Canada

storybookscanada.ca

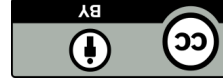
ቶ-ጊቶ-ጊቶ ፤

Written by: Michael Oguttu

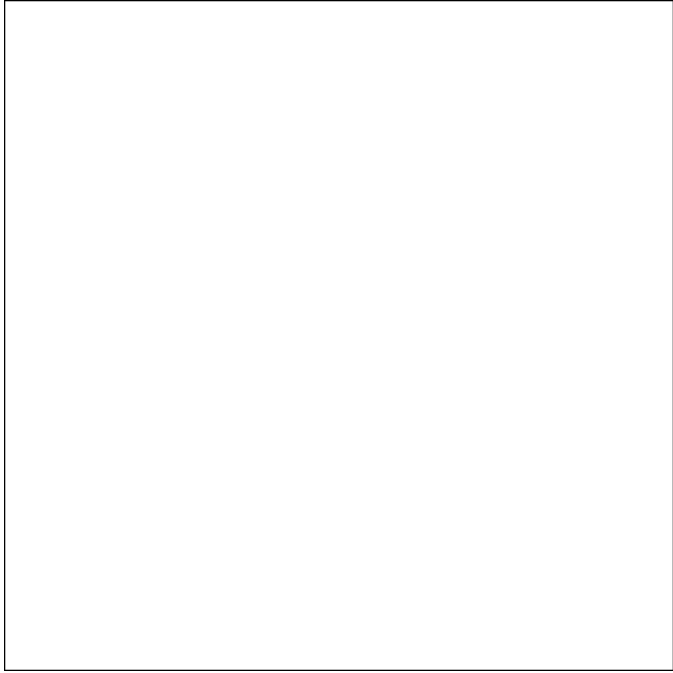
Illustrated by: Vusi Malindi

Translated by: Yoko Katakura

This story originates from the African Storybook (africanstorybook.org) and is brought to you by Storybooks Canada in an effort to provide children's stories in Canada's many languages.

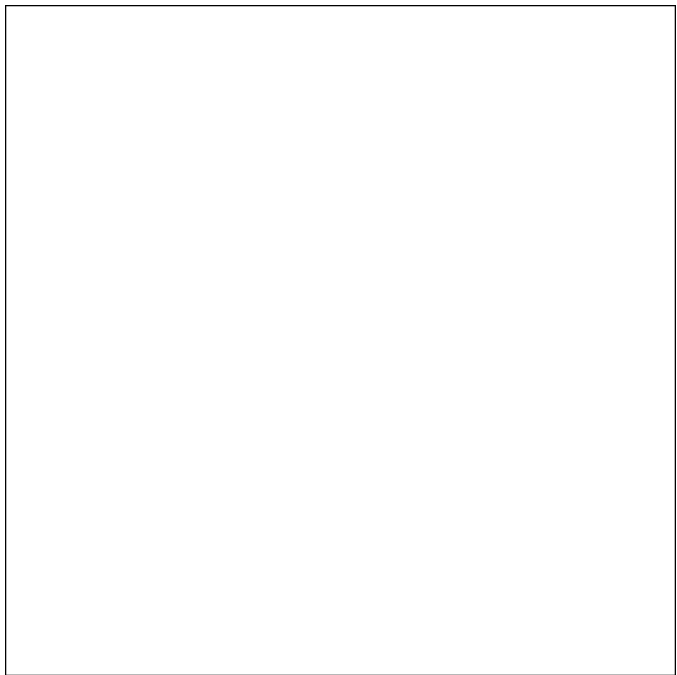


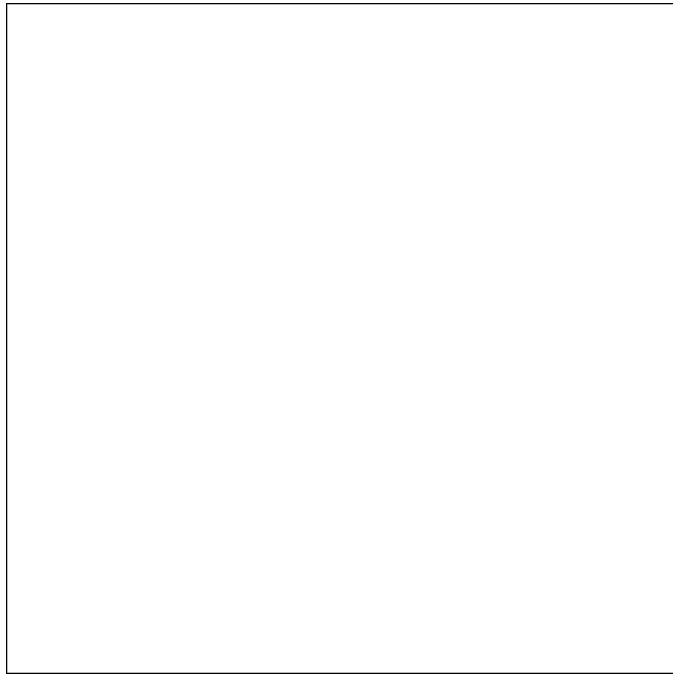
This work is licensed under a Creative Commons Attribution 3.0 International License.
<https://creativecommons.org/licenses/by/3.0>



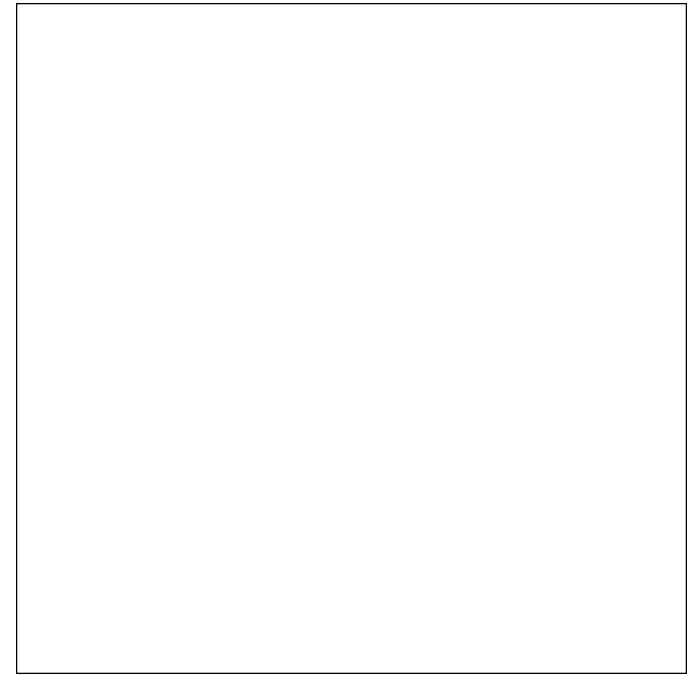
弟はとってもお寝坊さんだ。私は早起
き、だって私はすごい子だから！

お客様の光をお部屋に入れるのも私。



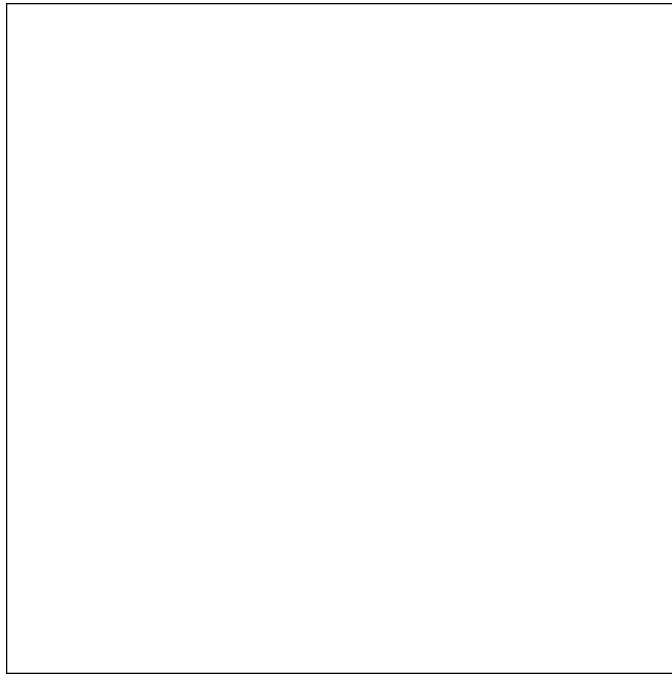


「あなたは、ママの朝のスターよ」と
ママは言う。

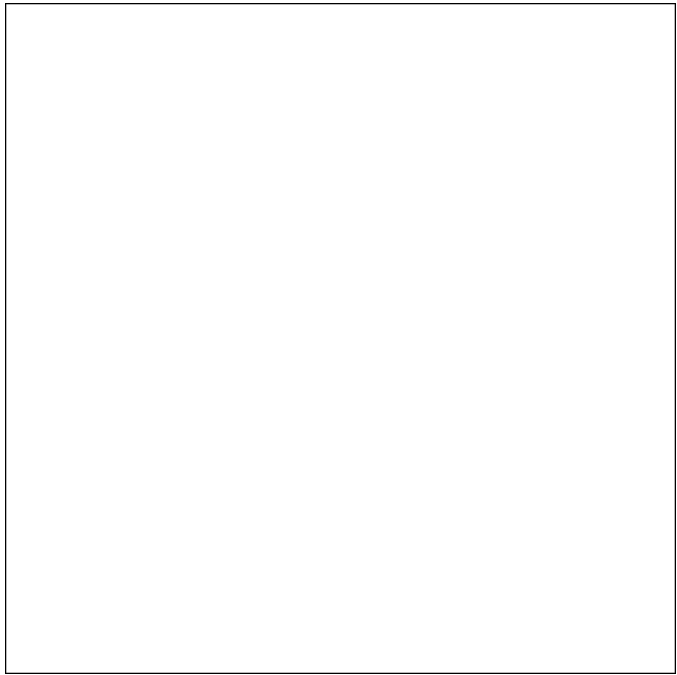


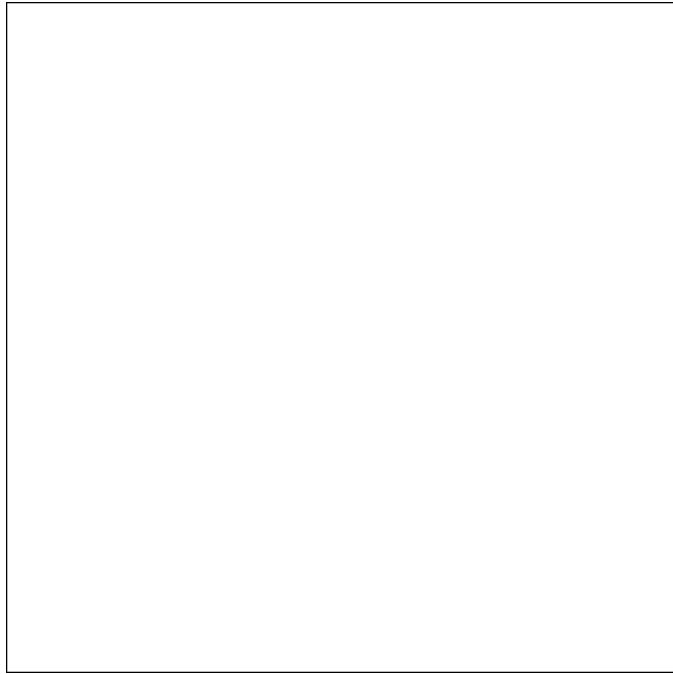
毎日こうやって良いこといっぱいやっ
ているよ。でも、一番好きなことは、
とことん遊ぶこと！

教室では、どんなことでも一生懸命か
んばってるよ。



一人で体を洗えるよ。



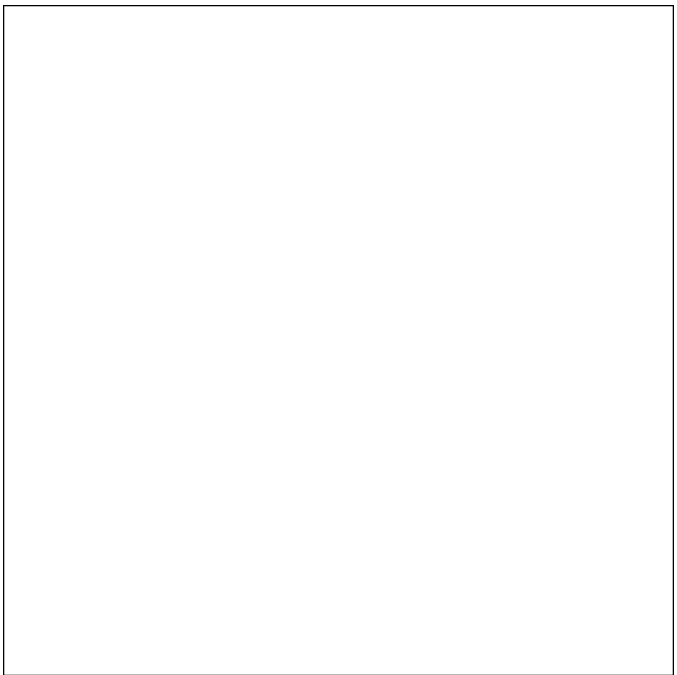


水と、青くてくさい石けんを使って何とか上手くやれるよ。

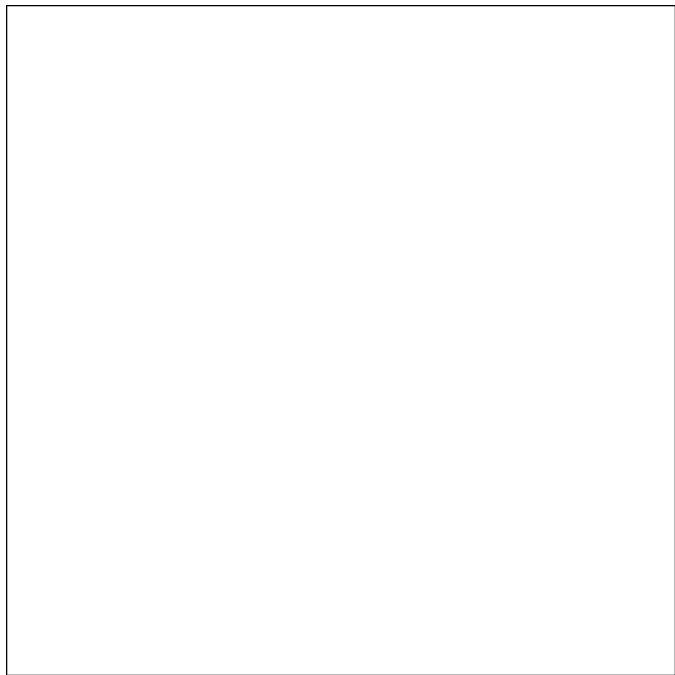


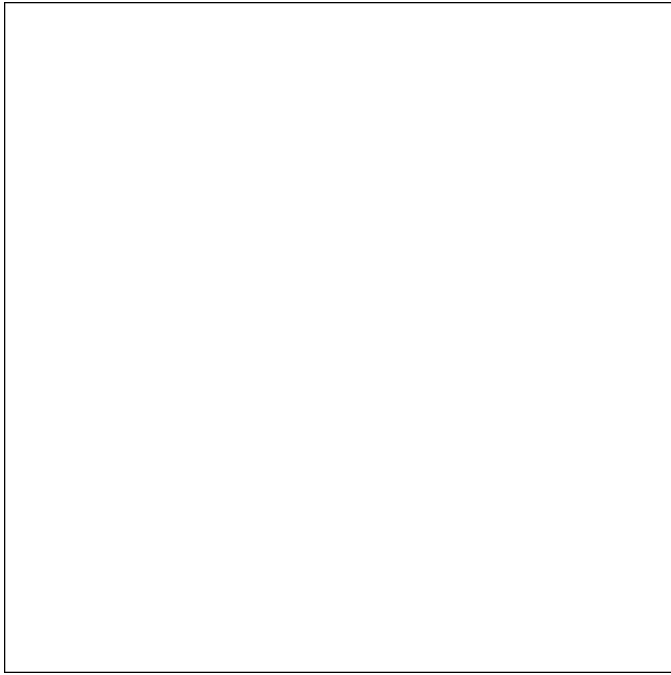
そして弟に学校で起こった出来事をみんな教えてあげるよ。

「歯を磨くのを忘れないでね」とママは念を押す。「絶対、忘れないよ」と私は答える。

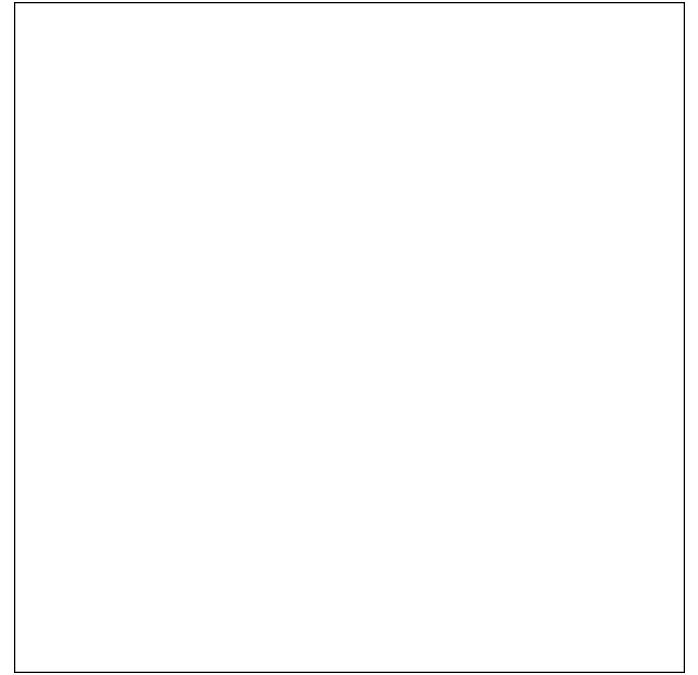


ポタンをはめることも、靴の留め金を留めることもできるよ。





洗い終わったら、おじいちゃんとおば
ちゃんに挨拶をして、みんなが良い一
日になるようにお祈りするよ。



それから、服を着て「もう、お姉さん
でしょ、ママ」と私。